

「自衛隊退職後の自分の姿を想像」 平成28年度就職援護フェア開催

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田辰雄）は、平成29年2月21日（火）、22日（水）の両日、陸上自衛隊久里浜駐屯地において「平成28年度就職援護フェア」を開催した。

同フェアは、県内に所在する駐屯地の所属隊員及び神奈川県で再就職を希望する自衛官並びに中隊長等を対象に、再就職支援の状況や再就職に必要な知識を付与するとともに、中隊長等の就職指導への理解の促進及び退職予定自衛官の意識改革を図ることを目的に、同地本が主催したものである。

1日目は、再就職したOBの体験談や援護業務の失敗例等のパネル展示の他、スーツの着こなしやビジネスマナーの2つの講座を実施し、参加した隊員は熱心にパネルを確認したり、スーツと自衛隊の制服の着こなしの違いに驚いていた。

2日目は、県内の援護協力企業やOBが就職している企業など約50社によるブース形式での業種説明会を実施した。企業やOBの話を直接聞くことができる貴重な機会とあって、各ブースでは多くの自衛官が真剣に話を聞いていた。2日間で、県内外の陸上・海上自衛官約200名が参加した。

神奈川地方協力本部は、「今後も部隊や企業との密接な協力関係を保ち、引き続き就職の援助に対する理解の促進及び意識改革を図っていく」としている。



熱心にパネルを確認する隊員（1）



熱心にパネルを確認する隊員（2）



スーツ着こなし講座の様子（1）



スーツ着こなし講座の様子（2）

「神奈川自衛隊音楽まつり2017」を支援

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄 1等海佐）は、2月26日（日）、神奈川県民ホール（横浜市中区）において開催された「神奈川自衛隊音楽まつり2017」を支援した。

本イベントは、同地本支援団体協議会が主催し、入隊・入校予定者への激励はもとより、併せて、音楽演奏を通じて県民の自衛隊に対する親近感及び関心の増進を図ることを目的に、毎年開催されているものである。

当日は天候にも恵まれ、多くの一般来場者が早朝から会場入口に長蛇の列を作るなど、同イベントの人気の高さが伺えた。

同イベントには、黒川副知事や横須賀地方総監のご臨席をはじめ、自衛隊協力団体や一般来場者などを含めた約2,300人が来場するとともに、高工校和太鼓部、東方音楽隊、横須賀音楽隊、米海軍第7艦隊音楽隊、横浜創英中学・高校吹奏楽部の出演5団体の協力により、入隊・入校予定者へのエールを贈った。

第一部では、「入隊・入校予定者激励会」が行われ、最後に海上自衛官として幹部候補生学校に入隊予定の代表者がお礼の挨拶を述べると、温かい拍手がホール内にこだました。

第二部では、各出演団体による演奏が順次行われ、最後に出演した横須賀音楽隊により、陸海空自衛隊の行進曲としてお馴染みの「凱旋」「空の精鋭」「軍艦」の3曲がメドレーで演奏されると、会場のボルテージは最高潮に達した。また、フィナーレでは、全出演団体と来場者全員が一体となって、小中学校の卒業式などでも歌われている「ピリッ」を一緒に合唱し、大盛況のうちに幕が閉じた。

終了後、来場者からは「入隊する学生たちの晴れやかな姿を観て、元気をもらいました」「素敵な音楽演奏に感動しました」などの声を聞くことができた。神奈川地方協力本部は、「今後も各種イベントを通じて、自衛隊に対する理解の促進に努めていく」としている。



出演者が一堂に会したフィナーレの様子